

呂
1368
長 9

環海異聞卷之八

言按卷之二十二

天文

天

大子一也

大とつ山事宿とつ不名を海身一と綴分て天を
子一也一を宿と大子一也一と以て地と云ふ
かなと大にふ島はオストロニアを云ふ大

環海異聞卷之八



言語第二十二

天文

天

大子ーボー

大といふ事故ト不付之辞多し假令ハ天也

子ーボーなるを大子ーボーといひ地ハジムラ

ちるを大ジムラ島ハオストロあるを大オス



トロといふ海を等初めてつきかき海をア
ツカをれとも大アツカと称するの類なり

日 ソンザ 月 メイセツ 星 スウィツタ

雲 オ、ホロカ 風 ホクタ 雨 ドーシ

雪 スナイカ 雷 ブロン 氷 リヨー

天晴ル ホロシヨ 天陰ル ネ、ホロシヨ 雨降ル カ ドーシ
セン ジヨシ イジヨウ

雨降 ラカ 電 ボーホ 日出 ツンザ
ナイシ ホロシ イジヨウ

日入 ソンザ 北極 セイウエ 寒 ホーロツノ
ザカタネ ズウズタ

暖 ケブロー 暑 ジヤリコー 濡シタ モクロ

燥 ソハヤ 火 オコニ 焚ク オコニ
トビイ

火 クナ 焚ク オコニ 烟 テム
ネ、トビイ けむい テムナ

烟 カ来ル 赤道 エクトル 天度 ガラド
タツ イジヨウ

假令ハ七十度なれハセイムテサ 度 ガラトと云也

梅子和名東よてハガラードといふなり

地理

地又土 ジムラ
大ジムラ

又國のふともりふ 日本國 ニツボンジムラ 支那 ケタイツケ

國 ジムラ 和蘭 ガラニツケ 國 ジムラとりふ

都會街衢

ゴロト

ふそ都府を為すふをりふ街のふもかくらふ

なみイルゴーツカもゴトゴトとりふペトルブル

カシオホロシヨゴロトなみと称せりホロシヨ

き好なり美あり

山 ソープカ 林 ソープカ 山 砂 ビツソーカ

石 カリーメン カミン 圃 オコロテ 橋 モース

橋ハ土橋石橋たふあり何れ橋を不用

五十百程も物も橋あふ

墓 ナブラ 井 コロゼツ 河 ライカアヌ アイレカ

海 モーリヨ 潮 アナソーリ 海水 モーリツケ ウテイ

波 ボロン 港 ガワニ ガフニ 島 オストロ

火災 ホヤツツア
又ホヤリヒ 塵 ソーロ 外國 エフスタシノ

陷ミ 穴 テラ 戲場シツイ カメジ

東 コイノダアツ イルゴツカミテ 東風をコントストリノ

西 ザーグノ 南 エーシヨール 北 セイウエレ

水 ゼリヲ 火 オコニ 土 上ニ出ツ

金 グーロトール 水 タテイ 大光
ボタイ 銀 セレブロ

鐵 イレヅノ 銅 メイツナ 硫黄 シイラ

燧石 ケレメレ 鹽 ソリ 台ウラ 白石 肥後白島
産アリ
白瑪瑙ノ属

イツウエースカ 石灰 乎別ニ記す

モイラ 石鹼 乎別ニ記す

諸國地名本國通稱

ケタイツケ

又
キタイスコイ

支那唐土

按小魯西亞人支那を呼びてケタイツケ又

キタイスコイといふしスコイ本國とも州

郡をもいふるや彼人諸玉の名を何く

スコイと稱するもの多し和名亦所撰輿地

略記譯記曰支那は事をキタイ又カタイ

ともいふ吉ふら韃靼の内につまふりといふ

一書ふ支那の地分つて二部とす北ふある

りの城 北京 ペキン 山東 サントン 山西 サンシー 陝西 センシー

河南 ホーケン 四川 スーセン の六部を統ふ南ふるお

を マンジンと稱し他の各部を統ふ

マンジンと野鄙の人といふるを北人南

人を侮稱するはといふるを或はマンジンと

蠻人といふ事あり

此キタイ又カタイハ漢土諸書みえ申ふの

契丹ありキタイの音譯字ありし契丹

五代より宋代中葉をてての地及び燕

雲十六州の地を有つて國號を又大

遼ともいふは時山東陝西河南等の地

をいふる領せずは金元の二代繼

て無き 金の女直 遼の時より大なり

上の六部の地を有るは時ふある

南朝を侮つて蠻人といひしありむ

たのめく金元の二代遼も継ぐを以て
北鞏めて支那のるを想て契丹と号し
又轉してカタイともいひしを以て魯西
無人鞏地をよみて海せるの日たつて
契丹とキタイの稱呼を以て支那全
州を統べてキタイスといひて稱する
をなかりしと思ふ契丹の地實に本國
東鞏の月ありて女直より西にほし

因云魯西の外の餘玉西域天竺地方
を始して歐羅巴洲往玉よりいひて漢
土乃國稱をシイナ支那と緬那と呼ぶは統緒
昔秦始皇の時其世の秦乃字の音を
傳ててかく稱し東ありしロイスミスと
いふ人の撰書中より我々今其稱を
改めしめり必ず秦晉稱の世の石を
きく稱せらるるを以ていひし果し

て此正體を以て又西域印度も
 之イナトと稱せり中にて支那緬那震
 旦等乃音譯字あり固て顧ふも
 くの初め印度地方も之十乃名を以て
 されを西北方も及し後く彼諸國
 みて古東漢土國稱ふ定めて稱し其
 了しゆりや是は我邦彼唐の代に
 志高く往來ありて遣唐使を以て

官にても其河に程遠なりされは其
 宋元明今乃清朝までも其ありは
 唐と稱する類ありし

ガラニツケ又ガラニヤ
 スウエーツケ
 ハラニソースケ
 アンゲリ
 ボルトガリ

阿蘭陀 大光 ガラニツ
 スウエツニア 雪際亞
 フラニス 拂郎察 大光 フラニツ
 アンゲリア 漢義利亞
 ホルトガリ 波 爾杜尾爾

ネイメツ

ゼルマニア

イスパン

イスパニア

トルカ

トル

タルタ

タル

ヘイケンツケ

北京

モンガリ

蒙古

トボリツカ

イルコーツカより彼里数あり
三千里北ふあろの地

カナスダ

新都へ出入の大湊
大老曰カラニスタレあろ候

ダンツケ

ダネマルカ

ペトルブルカより彼里
数千五百里あり

ノーイゴラニゼ

新和蘭

ドーブラナデジタ

喜望峯

トーブラハホロシヨト
同し語を好しりわろ
ドーブラハ穩あり
ふん和系を「カー
プデハイデホーブ
」と同義之洋あり
り「字ふ略ス

アニガリツケ

バイカル湖畔の地

ウエリホノウジンツケ

バイカル湖の上
手小をる地あり

ヤツボン
エツボン
ニツボン

日本

イニテイツケ

インディア

應帝亞

オロシイア

魯西亞

カーモリーヨ

又バイカモリーヨ

ムスクワ

莫斯^{モス}筒^コ末^{ビア}亞

ペトルブルカ

ビゼルビユカ

ピートルベルグ

オンデレイツケ

漂^ヒ島^マの^ノ島^ノ名^ナ

光^ヒを^シ丈^シ曰^クア^ミミ^ヤー^ツカ^ノ北^ノに^ハツ^ク海^ヲア^リ

デレイスカトツム

チヨリノイ

モリーヨ

黒海

秋^ノ水^ノ氷^ヲつ^つつ^つを^シり^テ三^ノ月^{ヨリ}秋^ノ

七月^{ヨリ}迄^ニ軍^船を^撃つ^つ置^くと^す也^{ナリ}

時令

年

ゴラ

今年

シヨオガア
ゴラ

来年

一月

オゼン
メイセツ

一年

オゼン
ゴラ

一年

去年

ポロシテ
ゴラ

一時

オゼン
チヤアス

半時

晝

ゼン

夜

ノラチ

朝

晚

ウイチル

日ノ半

ボチイ
チゼン

夜ノあき

今日

シヨウジユ

昨日

チヤラス

明日

一昨日

テレチ
トジ

明後日

ボシテ
ザフタ

今

春

ウイスノ

夏

ライタ

秋

オーセン

冬

ジマ

十二月名

正月

イヌワリ
エフワリ

一月 三十日ありと云ゆ

二月

ヘブワリ
ヘブラワリ

二月 廿八日の月と廿九日ある時あり

三月

マルク

四月

アプライリ

五月

マイ

六月

イロヨシ
イヨシ

七月

イヨリ

八月

アラゴシ

九月

センチヤブレ

十月

オキチヤブレ

十一月

ノヤブレ

十二月レカブレ

三月より以下に二十日二十一日と隔月も多
少あり一年に五十三七日ありといふおれざる
め此取別ふ閏月をいふ閏月とあつれ
セテ年のふあつるとをり彼正月の多くは我
方は十二月ありたる文化元年甲子十二月
十四日長崎旅着中カロライアにイヌワリ正月
元日なうりき漂流の年の暦は漂人等所持

せしうおもひ生後いふれありれは初るす振子し
初より推して暦日を定め之日月十五か
ちをいふかゝしん是ては越せり甲子
の年九月七日と定て長崎の津ふ入りしふ
六日ありし十三ヶ年以内一日の差はあり
しとて
暦は彼をいふす振子按文字あり固より毎
を以て稱すこれ年終の心や文化甲子
十二月より乙丑をいふ彼暦一子百四年き
按小羅旬十二箇月の名 正月 ヤニユアレイ

二月 マルチウス 三月 マイウス 四月 ユリウス
 五月 セプテミル 六月 ノーヘムベル 七月 ヘブリアリウス
 八月 アップリル 九月 セニウス 十月 アウグスチス
 十一月 オクトベル 十二月 デイセムベル
 此は正名なり

轉し来りしもの故ししは毎月の名は皆氣
 お似たりしものなりしを以て彼らに其月並
 大いし差有り今姑く此れを附ししは并或
 漢人等の名を遺ししものも亦や他の名は

人倫 官職諸名等ハ本條に載り

人 子ヨクイカ 男 ムセキ 女 子シナ

君 クシヤイナ 僕 オロボジカ 父 ハチシカ

母 マトシカ 大光 大光 大光 大光
 大光 大光 大光 大光 大光 大光
 大光 大光 大光 大光 大光 大光

父親 オセツ 大光 オセイワ 母親 マチチ

祖父 ジヤジシカ 祖母 バブシカ 兄 ブラジツ

弟 ブライ 大光 大光 大光 大光
 大光 大光 大光 大光 大光 大光
 大光 大光 大光 大光 大光 大光

娘 ドーチ 家の女といふなり他の娘といふ時セイフカト云

伯父 ジヤジヨシカ
伯母 ちラトシカ
妻 ゼエナ エナ

人の妻を呼ぶ母ハクミヤイカトシヨ某の内義といふ也

夫 ムウシ
姪 オイ メイ オロニヤ
又反て親類とも
リヤ

孕婦 ベシホラウ
産婦 オロゼル
老 スタス ちロウエーカ

少 モイトイ ちロウエーカ 愚 トテアカ
聰明 オレノエ

朋友 タワラシ
帝 イムペラトリ
后 イムペレキレツサイ

王 ゴツタリ
あはれ 帝あても王あても悪くして
そふれ 呼ぶ 梓といふ也

諸侯 コロリ
奉行 エナラウ
書役頭 シキリタリ

通事 ペレヲチキ
醫者 ドクトル
兵士 チノミカ

寡 ヤモメ ホロストイ
富 バカトヨ
貧 ベエツナ

善人 ホロシヨ
悪人 ホクヤ ちロウエーカ

娼 チロシヨ ホロタスノ ゼエラカ
鍛夷人 モクナトウ

又ボロクスケ ちロウエーカ
共ハ毛の中へ ちロウエーカ
縫匠 仕立屋 ボロツノエ
鍛冶 コジナイジ
手習師匠 オチイテ

手習子 オチーカ
凡てオチ子をオチイ
ニカトシヨ

商人 コベイツ
木匠 大工 ポロリミカ
石匠 カーメンシキ

馬士

ユコヒキ
大光エミシキ

師

オチイテレ

歩卒

サウタ

美男

カラシイワ

病人

ホリノ
大光ボリ

聾

ゴロホイ

船師

カペタン

高船

モリヨコフ

舟子

町人

メシミン

使節

ポストラミンカ

美女

カラサイツサ

乞児

ケレスタラシ
ポーミル

跛

ホロモイ

水主

マトロス

官船

ストロマン

舟夫

酒風

マヨイ
ビヤミンザ

大和尚

アレヘライ

盲

スロポイ

庖人

ホーワリ
ミヤキスル人

身體

頭

ブノワ

口

ブーハ

胸

ドシヤ

足

ノイケ

面

レツザ

尻

ソーパー

乳汁

モロフ

眼

ガザア

鼻

ノース

腹

ベレホ

皮

コロシヤ

唇

グーハ

舌

エツキ

腰

シペチ

耳

オ、ホー

髪

オーロス

手

オロカ
オロケ
オローケ

骨

コロシテ

齒

ゾーベイ

乳

デーチカ

臍

ポープー

陰莖

ホイ

鮫

ペリカ

陰囊

ムーゼイ

陰門

ビツタ

兒女

コニカ

經水

ルーバーシカ

指

ビヨースト

膝

オクネナ

肉

メヤス

鬚

ホルタ

臟腑

ケシケイ

肝

セイシツ

血

コロフ

發汗

スポセル

大便

サラジ

小便

シヤーシ

屁

ピヨリノイ

放屁

ベリトク

滂洩

ソピヤカ

毛

セイレツ

居處宮室

家

ドーマ

坐敷

ゴリーンズ

閨房

コロワシ

臥床

庖樹

ジモミア

戸

ジエウエル

窓戸

スタリン

窓障子

オエシカ

硝子障子

ステクロオエシカ

柱

ストバ

壁

ステナ

砌

チツカリノカミン

階

ソニンミンザ

烟出

トロバ

邏所

カラクリカ

垣

サブロート

獄屋

オストロカ

倉廩

アシバル

浴室

バニヤ

門

オロタ

席

ポスライ

魚市

アレパン
オリヤト

酒店 カバカ
 民家 ケレシアニ
 寺 ゼレコフ 大志。ゼウリフ
 尼寺 マステライ

器財

旗 フラカ
 發貢 イシビヤ ポーシカ
 火炮 テツホツ オレヒキヤ
 腰刀 シツパアカ
 鉞 トツポーロ
 鋸 ビラー
 剪刀 イーシゴザ
 剃刀 ペシツツ
 鞍 セツロー
 セツロー馬の脊ふかけ人の騎る物きて荷鞍の用ふ似あり又
 ゼリツチカといふ石をつけるよふふる脊ふは無き物

帆 バロス
 播 ハシラ マシタ
 舵 ロウリ
 碇 ヤーコレ
 綱 ツナ カナース
 高船 ツーツチ
 官船 ナデシタ
 軍艦 カラブレ
 脚船 テシマ 大中小あり
 大と名なれどもといふ碇並ふ綱をいふつむ申をシロブカ
 といふ陸へ人つくる時舟ゆわをヤーシキといひて三
 艘ありあるて小 ツカヒ 舟ゆ
 水車 カカシラ 風扇 メイニシザ
 車 道中用多キピツカ 雪車 サンギ
布中用多キコニイト 雪車 サンケイ
 字 ビシ 紙 ビシブマカ 墨汁 チリニナ

圖

カリタ

印

ビツセ

銀水晶等ニテ作ル

書冊

キニイカ

笛

ドートチカ

吹テ火ヲオコス物モドートチカトエドイハ吹テ樂器部ニ

琴

ゴーシケ

圖アリ

胡弓

ケレブコ

圖アリ

大鼓

バラバン

絲

ネーツケ

綿

ブマカ

蒲團

オジアラ

包袱

ポルトカ

帽笠

シラツパ

三角帽

テレオコロツ
シラツパ

枕

ポトレカ

皮枕ハ茵の等物

杖

バーブカ
バラカ

椅子

ストリヤ

輕賤ノ人所用長キ腰掛

スカミヤ

机案

食盤
ストウ

箱

ヤーシキ

スンドーカ

着物と合箱
櫃ノ類

鏡

ゼリカラ

眼鏡

オツチケ

時計

チヤスウ

法馬

ペヂミン

鈴

コロコウリ

錠

ザモーカ

鍵

ケルチ

火箸

シロセイ

燧

オコニワ

礪

ボロス

木推

モノトウカ

鍼

イコルカ

羅針

カムパス

瓶

煮物
ゴリセウカ

茶碗
木碗

チヤーシカ

鉢

トリニカ

鏝

ストーフ

大ぬすこ

クトーフ

小ぬすこ

ステラニカ

小ぬすこ

リヨニカ

ちりく
こりく

スタカン

桶

カツトシカ

手桶

ウシヤタ

硝子

ステクロ

メツタリ

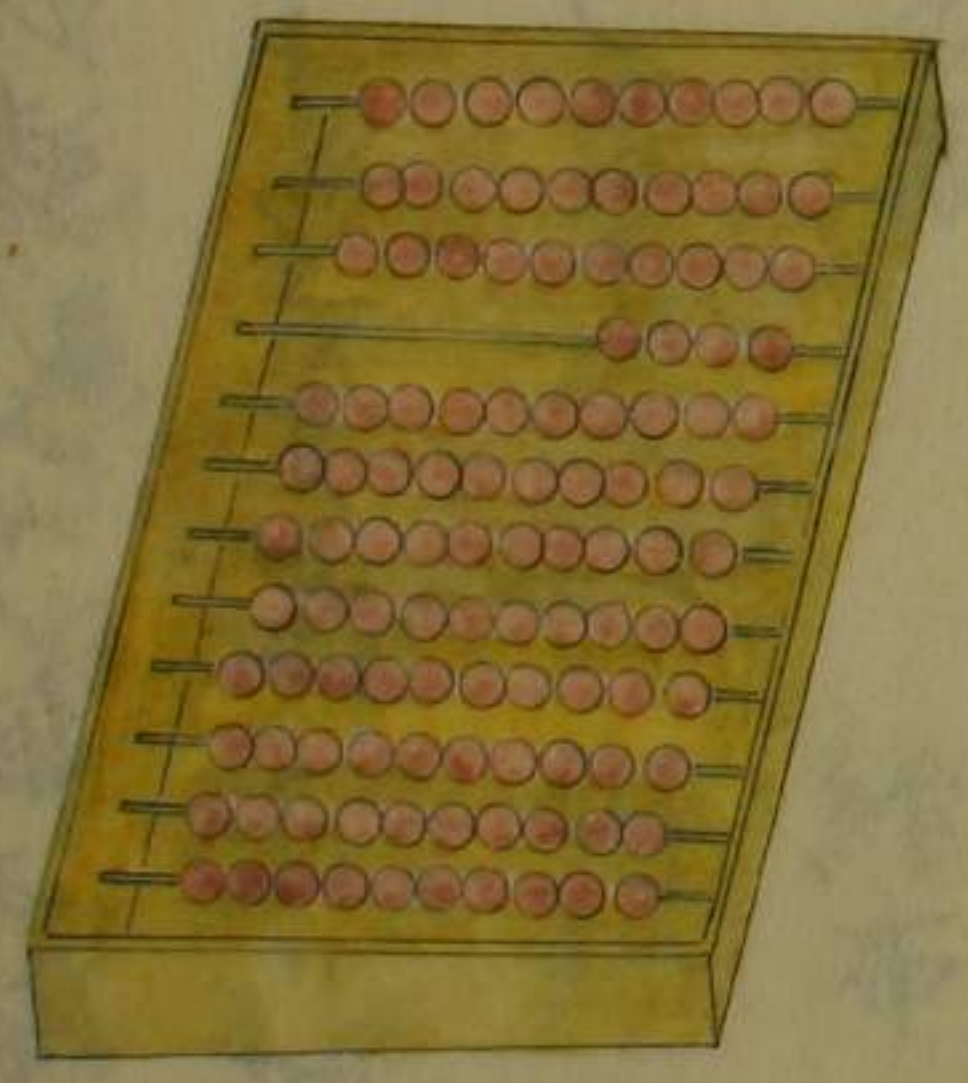
金或ハ銀カテ圓形カニ作リ其面カニ横文字
 并國號等イカテ印カ入レ縁出カル物トスル
 是官より名付テ賜カルものナリ人カニ授ケル事
 胸カの所カニ付テ軍靴カニ出テ其尾カニ付テ其
 者カハ何カニテモ一功カト云カル者カハ褒賞カニシ
 テ諸玉カ紐束カ自中カテ其印カの如カキ物ト
 以カゆるナリ其後カは帝カ躬カニ付カル者カハ
 水カ玉カといカフ者カハ其物カト賜カル先年カ伊勢

光カ吉カ也カも海船カの者カ王カより賜カル者カハ彼日
 玉カ舟カの者カハ其物カト賜カル者カハ

按カル和名カ書カニ法國カの付カ相カの圖カニ載カテ
 ものあり和名カ書カニメシダアリカといカふ

十露盤

シツチヤウ



我邦の用ふ絹様の遠くあり絹も重き玉と様ふ
 たりしをちと玉ハ十ツ穿四段目ハ四ツ玉なり
 櫛ケタの紋拾部あり

衣服織段飲食

衣類飲食の名若條ふ出するもの多し

あふ出さす

- | | | | | | |
|-----|------|----|----------------|-------------------------|-------------|
| 衣服 | ブリーナ | 悦巾 | テレピツザ
かばきあり | 袖 | オロカワ |
| 風領 | ガスーカ | 戒指 | 名忘 | 縮布 | セウフ |
| 木綿 | ダバ | 綿布 | ケタイカ | 絹絲 | セウフ
ネイツケ |
| 糸 | ネイツケ | 羅紗 | ソクソウ | 羊 <small>バシ</small> の毛糸 | あて織りあり |
| 羅脊板 | バイカ | 羅紗 | 似て毛扇き物とバイカとよみ | 深人帶來の絨ふけあり | |

天鵝絨 ウエーグ

緋羅紗

カラホネナ
リクノウ

八絲 シユス

カタハ

糰

ソーロー

菓子

ピラニカ

麥酒

ウイナ

上好酒 オツカ

沙糖

サハラ

茶

チヤコ
チヤイ

蒸餅

ケレプト

麦類蒸餅ふ作りも多お
白てケレプト作り

女酒

エミナオツカ

毛赤く甘き酒あり
トクをいふもい

プリン

婚禮の部
スモ

焼酒

ケレブコ
オツカ

烟草

タバコ

コーヒイ

水質 飲食部
出ツ

シペリ

出蛇の部と
清き酒あり

牛酪

モロコ

酢

オクツス

モロコより
取らる油

マスラ

乾魚

ヨーカー

塩蔵魚

ソリツヨ
アレバノ

油揚魚

ジャリナ

煮魚

ワリノアバ

新鮮

シウイニ

魚と麦粉
包み蒸焼
志るお

ペシケイ

粟

名ふる

イルクツカ
すり粉
あき方りのり

朝茶

サタラガ

朝飯

オピヤアタ

晝舗

パウシナイ

暮食

オシナイ

粥

カーシヤ

麦蕎麦粟の
類してはつる

言辭

草

タラワ

禾

ゼリワ

花

スウエトシカ
ツタトカ大花

實

セーミョー

青

ゼリヨノ

黄

エモン

赤

アライ

白

ピアライ

黒

チヨリノ
チヨリノイ

甘

スワツカ

酸

ケイスナ

辛

ゴリカ

苦

ゴリカ 辛ト

鹹

ソーリヨノ

右 有
エイシ
ポラワ
右 鹹ト云ふ
シトゴソリヨノト云ふ

魚
ネ
左
ライワ
右
エイシ
ポラワ

始

ガチナウ

終

シヤハイシヤ

長

ドーウケ

短

コロツコ

廣

ヒーロフ

狭

オノスコ

前

ヘリヨート

後

ナザデイ

内

イツバ

外

ナトワリ

上

ウケリホ

下

ニースノ

遠

タリヨルフ

近

ベレツコ

深

ゴルホーカ

浅

シヨルフ

剛

ツケルト

柔

ミヤルフ

見

ヌモテレル

聞

ツネシウ

早

スコロ

遲

ドーケ

多

モノヲフ

少

ネモノヲフ

強

ケレプロ

弱

ネ、ケレプロ

重

チヨクロウ

輕

ネ、チヨクロウ

厚

トストイ

薄

トリーニラ

難 ムツカシイ

ムテレノウ

易 シヤスイ

ネムテレノウ

緊

トリーカ

緩

ネトリーカ

銳

オ、ストロ

鈍

ネ、オ、ストロ

臭 ワルクサイ

ドーハ

香

ドーハ
ホロシヨイ

好きせきりとしりふふ文思き
かひりど、ドーハ、ホロシヨイと云

死

ボーメル

生

真

ブラウカ

偽

ネ、フラウタ

虚偽

ウリヨシ

圓

コロゴロ

方

チヤラレ、オ、ゴロ 四方隅

三角

テレオ、ゴロ 三

好 ヨイ

ホロシヨ

惡 アヒナ

美惡

ペカスナ

汗 アサイ

シーロコ

滑澤 ツヤガヨイ

チイシテ

糙澁 ツヤガワルイ

ネチイシテ

泣

スラガ

笑

スシヨツザ

肥

トストイ

瘦

ソハヤ

大

ホリシヨ
ボロシヨイ

小

マーリシコ

高

空ツリーカ

低

ニースコ

勝

空ーゲラル

負

ポイゲラル

知

ツナヨ

不知

ネツナヨ

正直 マツスク

ピラマ

不直

ネブラマ

寐

スワピウ

又寐入るといふゆゑを
オスノウト云

寤

スタワル

忘

サポール

不忘

ネザボウイ

客 グシテ 客^ウ来^ル多^クし^カめ^ル グシテ 主人 マレヤイ

諾 アス 否 イヤダ ネナダ 汝 テ テエ

向方 ドテ 我 シヤア 私 ヤ 下輩^カ対^シ

誰 タトウ 尊君 ウエ 婚姻 スワツハ

交合 將接 ^{エボウ} 接^ス ^{エビヤル} 請接 ^{タイエツチ} ^{タイ^ス貸^セ}

貸 サイメイ 借 サイメル 欲 ホーチエー

不欲 ネホチエー 行 シトバイ 待 ホコゼイ

書 ビツシウ 讀 セクヨ 高直 ドロクテ

下直 シヨウシウ 買 コピユウ 賞 ポタリル 與 ホウリ

吝嗇 スロポイ 往来 ソデク 色 アラツチ

諸 ヒラコイ 宗旨 ザツコン 力強 ジルモイコ

叱 バラヒウ 忌 ニリウビ 耻 ステツチ

驚 スポガル 踊 ヒツサラ 又 オツピヤーチ

作 オレゼル 種 カラジイ

種 サゼル 種 カラジイ 又 ^{オレゼル} ^ハ ^生 ^ス ^草 ^カ ^ト ^の ^生 ^ス ^カ ^モ

種 サゼル 種 カラジイ 物 ^カ ^ヲ ^握 ^ル ^カ ^ラ ^ジ ^イ ^ト ^シ ^カ ^ハ ^大 ^光 ^日 ^種

家作 ストロイル

私共 ナム

呼 ヲウ井

勤ク テレシエール

出セ チタイ

浴 コバイ

洗 洗フハモヨ
洗ハモエ

進物 ゴシテツサ

材木 レース

薪 ドロウ

典當 ザツクスト

煮 ワリイ

焼 ジヤレイ

味 ラコス

美味 フコス
ホロシヨ
塩梅好とつあ

精進 ポーシナ

空腹 ゴルゼン

食時分 パラ

縫 セイ

沈 オウトネル

教 オチウ

尋 イスカヨ

惚 ルヒー

罰 ゲライカ

痛 ホルノ

痒 スジツザ

執心病 ゴリヤチカ

痘瘡 オスバ

痘痕ともしみ
花面イモカホの人々あざとあ
オスバパリシヨ
いもろの人のあざとあ
オスバ オツシヨルとしみ

頭痛 コノワホルノ

鼻衄 ノースコロフ
イチヨウ

青腿 ツシガ
丹疔

强健 ケレブコ

下疳 ハラニソース
ホリノ

缺唇 名ふ覚

唾 名ふ覚

癩病 名ふ覚
は痛一人之あ

不使 ネモゴ

不使 ネモウシ

志 シバク
我が鼻

和 丁寧ふいふ
ナットロイヤ

物を扱めし禮としみ
志のあらし

物を扱めし禮としみ
志のあらし

オツコシノシテ
ポラグザストイ

私ふト
モイポタレ
トされぬ
ネポタユウ
ワレて痛
ナツトロイヤ

何ふ
ココイ
チヨウエイカ
外へ出る
ナソワル
大い候ふゆくともいふ

他の内ふ入りひえと
然しませうといふん
ダラストイ
我が目上ある婦人お對し
いつかッダリにいとよみ

久しくは月かあるぬ西登り
あさるものもあまやほまふ
タウニユ空ダリカコワミラシ
空
上人お對しよみ
ウエとあまとい
いつかきふあり

同じんをト下登の
人ふりあき
カコワミラシ
テバイ
テバイといふあき
いつか娘のふり

あかこを連れ
テカコワミラシ

あかこも西登
左カコワミナシ
ッダリ
糖といふんあり

お米あり
ゴシテペリシヨル
流るるあり
クトタペリシヨル

私て西登り
ヤスタイ
何て西登り
チヨウスタイ

何じ
チヨウ
友をたとの呼み時んやす
いふ通詞なり

何四角で
西登ります
チヨウ
イズオリ

乾飯
珍あり
オビヤダル
珍あり
オビヤダル

あかこは西登り
なまきれ
フデ
サゼ

海を
ウイナ
パイ
浜山
あくれ
モノコ
クイミヤイ

柔そのんて
びざれ
チユ
クイミヤイ

水を
あくれ
ウテ
パイ
パイハ
春めなり

煙草を
のめよ
タバコ
コレハ
吃くなり
吐くて
ポーコーレ

何ても吐
き出しなれ
チヨワニ
ボート
ポコーレ
チヨワニト
何あてもし

今更いまタ
寒寒います
シヨフー
ジニ
ホー
ロツノ
寒寒い
おまの
の
テ
ー
ゴ
ー
シ

あの人
が
いひま
す
オ
ン
ブ
ー
レ
ル
あ
ま
の
の
お
ま
の
の
テ
ー
ゴ
ー
シ

あの人
と
芝
居
と
兄
と
い
ひ
ま
す
オ
ン
ブ
ー
レ
ル
ス
モ
テ
レ
ル
カ
メ
ー
ジ
イ
芝
居

兄
と
い
ひ
ま
す
ス
モ
テ
レ
ル
ポ
ー
レ
ル
カ
メ
ー
ジ
イ
芝
居

ど
う
も
あ
ま
の
の
カ
コ
ワ
レ
ホ
ロ
シ
ヨ
リ

あ
ま
の
の
ポ
シ
ト
ウ
セ
リ
ゼ
ツ
サ
何
て
悪
く
ポ
シ
ト
ウ
オ
カ
ヨ

あ
ま
の
の
ボ
シ
ト
ウ
テ
バ
イ
ス
ミ
ヨ
ツ
サ

何
か
と
い
ひ
ま
す
ボ
シ
ト
ド
ー
ケ

能
か
人
ネ
オ
ミ
ノ
イ
チ
ヨ
ロ
ウ
エ
イ
カ

利
家
人
オ
ミ
ノ
イ
チ
ヨ
ウ
エ
ー
カ

い
ま
ど
い
ベ
ー
ツ
ナ
か
い
つ
シ
ヤ
ウ
コ

大
き
な
ア
ナ
コ
ポ
ー
メ
ル
あ
ま
の
ネ
ポ
ー
メ
ル

あ
ま
の
ド
ー
マ
ヨ
あ
ま
の
ネ
ド
ー
マ
ヨ

あ
ま
の
ド
ー
マ
イ
あ
ま
の
ポ
ス
ラ
ヨ

容姿キリコウ女メウ
よりい

カラサイサ

若狭ワカのノ音ネ

ネラバイ オロカヨ

あれと造ツクリ

アイタ

モシナレ

ゼイライテ

くららぬク

モシナレ

ゼーライテ

造ツクリれぬ

ネモシナレ

ゼイライテ

大黒オホクを

シロゼイ

イスカイ

同ドウ

ヒオロフノ

何ナニとの

コトロー

ををくく

オシマノワイ

うそウソで

ネオシマノワイ

つぎツギををぬぬふふ

何ナニ程ほど

ストウトエ

ははのの何ナニ

アイタ カキナヅワヨ

あれ何ナニ

アイタ チョワ

あれあれいい

ドーロク

何ナニと

チョワゼライ

何ナニととええ

チワスモテレル

小曲コクマと

ピーシネ

右言語一編、彼邦語を分る一編、
漢字を分る一編、彼土音と他邦の
も多かる、又遺忘せざるも多かる、
彼人、難居せるもの、可なり、
此も、用ひの、

其の程、對話も出来し、極子を以て其の
出来彼の手とあるが、既に其の年不及
し、その故も、設けて同知するも、
忘失せりしと、是れ、さうも、又、因り
祖恩の銭民間見、其の漏れ、是れ、
りとも、改志、さる、遺憾なり、と、
け、其の、之、あり、唯、之、
き、是、と、是、物と、漫、不、
き、

め、他、姑、九門と、分、て、類、聚、せ、り、
亦、若、門、卒、復、前、後、錯、出、次、第、後、叙、せ、り
も、餘、多、あ、り、し、是、唯、其、邦、語、の、一、端、を
知、る、不、足、る、もの、と、い、ふ、處、し、
目、は、之、語、乃、一、編、の、語、後、を、
最、末、不、到、り、て、
帰、期、も、信、り、忽、ち、
涉、せ、し、る、も、
中、の、

皮酒り古記しあやふしりするもよきいふ故ふ
ふりくく白徳いふかきあふしし生毎
徳の傍り或大志と記せるもの経年仔
勢の舟子大馬面志と更彼地小源と
臆記せしゆと古記ししなれば男彼玉
の文字も是しあふし乃ちあはるる遠
もたふしあふし

環海実聞卷之八

